

令和5年度 第2回高齢者支援部会 議事録

日 時: 令和5年10月25日(水)

19時45分～20時30分

場 所: 帯広市役所10階 第3会議室

(会議次第)

1 開 会

2 議 題

(1) 令和4年度第3回高齢者支援部会議事録及び令和5年度第1回高齢者支援部会議事録の確認

(2) 令和4年度決算報告

(3) 第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の実施状況

(4) その他

3 閉 会

(委員・専門委員)

● 出席(8名)

山並委員、山本委員、末永委員、下坪委員

畠山専門委員、東専門委員、野尻専門委員、鈴木専門委員

● 欠席(1名)

川向専門委員

(事務局)

● 介護高齢福祉課(6名)

佐藤課長、野原主幹、高橋課長補佐、斉藤係長、渡辺係長、山本主任補

● 地域福祉課(2名)

永田課長、藤本課長補佐

(議事録)

● 事務局

ただいまから、帯広市健康生活支援審議会 第2回高齢者支援部会を開会いたします。

本日は、委員及び専門委員9名中8名のご出席により、過半数のご出席をいただいておりますので、本部会は、帯広市健康生活支援審議会条例施行規則第4条第1項の規定により、成立しておりますことをご報告いたします。

議事に入ります前に、本日の資料を確認させていただきます。

事前に皆様に送付しております、

- ・会議次第
- ・資料1 令和4年度第3回高齢者支援部会議事録
- ・資料2 令和5年度第1回高齢者支援部会議事録
- ・資料3-1から3-2 一般会計決算
- ・資料4-1から4-3 介護保険会計決算
- ・資料5 介護保険事業の概要
- ・資料6 第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画実施状況
- ・資料7 令和5年度保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金について

最後に、机上に配布しております、

- ・座席表

以上の資料につきまして、不足等ございましたら、ここでお申し付けください。

(各委員及び専門委員 不足等なし)

よろしいでしょうか。

それでは、以後の進行は山並部会長にお願いいたします。

● 部会長

それでは、会議次第の「2 会議」に入らせていただきます。

初めに、(1)の「令和4年度第3回高齢者支援部会議事録及び令和5年度第1回高齢者支援部会議事録の確認」でございますが、資料1及び資料2をご覧ください。

こちらの議事録につきましては、この場で皆様にご確認いただいた後、帯広市のホームページ上に公開する予定でございます。

議事録の内容について、皆様からご意見やご質問はございますか。

(各委員及び専門委員 意見・質問なし)

よろしいでしょうか。

それでは、ご承認いただいたということで、こちらの議事録を公開させていただきます。

次に、(2)の「令和4年度決算報告」について、事務局より説明願います。

● 事務局

それでは、資料3-1 令和4年度一般会計決算(概要)をご覧ください。

一般会計の総事業費は、7億2,113万298円でございます。

そのうち、老人福祉費が7億1,182万2,922円でございます。

なお、総事業費の前年決算対比では、176万3,674円の増となっております。

資料3-1では老人福祉費の主な事業費の増減を記載しており、各事業名の下に事業内容を記載しております。

なお、令和元年度以降の事業別の予算額及び決算額の推移につきましては、資料3-2のとおりとなっております。

資料3につきまして、説明は以上でございます。

続きまして、資料4-1 令和4年度介護保険会計決算(概要)をご覧ください。

まずは、表題のすぐ下でございます、令和4年度の介護保険会計の総事業費は、159億2,687万9,561円となっております。前年決算対比では、2億7,900万6,778円の増となっております。

次に、前年決算対比で増減率が大きなものについてご説明申し上げます。

まず、左側の事業費からですが「保険給付費」関係につきましては、後ほど、資料5で説明させていただきます。

下から2番目の囲みの包括的支援事業費のうち、「高齢者虐待防止ネットワーク事業費」について、虐待防止に係る研修会の開催及び事務用品の購入により、前年度より決算額が増加しております。

右側の事業費に移りまして、上から2番目の囲みの諸費のうち、「介護保険負担金補助金等精算返還金」について、令和3年度の交付申請に基づき、国及び道から概算で補助金及び交付金の交付を受けたものに対し、実績で差額が生じたため、令和4年度にそれぞれ返還したものです。

前年決算対比で増となっておりますが、新型コロナウイルス感染症等の影響で給付費が想定よりも伸びず、乖離が生じたことが主な要因です。

続きまして、2つ下の囲みの「一般管理費」以下の事務費ですが、まず、「一般管理事務費(臨時)」について、令和3年度と比べ大幅に増となっておりますのは、第九期計画策定に係る経費の分となります。

令和元年度以降の事業費別の予算額及び決算額の推移につきましては、歳出につきましては資料4-2、歳入につきましては、資料4-3のとおりとなっております。

続きまして、資料5 介護保険事業の概要をご覧ください。

はじめに1ページ目、「被保険者の状況」をご覧ください。

1番目の「第1号被保険者数(65歳以上)」につきまして、上半分の表では、本市における平成21年度以降の人口や、第1号被保険者数の推移を記載しております。

表の右側、令和4年度の総人口は 164,171 人、第1号被保険者数は 49,335 人、被保険者比率は 30.05%となっております。

下半分のグラフにつきましては、棒グラフが本市の人口、折れ線グラフが第1号被保険者数となっております。

人口は徐々に減少し、逆に、第1号被保険者は徐々に増加していることが分かります。

続きまして2ページ目、「要支援・要介護認定者数」をご覧ください。

表の左端の中段に、「合計④」と書いた行がありまして、こちらが、各年度における要介護認定者数の平均値となっております。令和4年度につきましては、10,892 人となっております、平成21年度の約 1.6 倍に増加しております。

表の一番下の行には軽度認定者の割合を記載しております。軽度者には、要支援1から要介護1までの方が対象となりますが、令和4年度は 58.52%となっており、軽度者の割合が徐々に増加していることが分かります。

これは、早い段階で介護認定を受け、自立に向けた介護サービスを利用することで、介護の重度化の抑制に繋がっているものと考えております。

続きまして3ページ目、「介護保険給付費の状況」をご確認ください。

令和4年度の給付費の合計としては、計画値で 151 億 3,433 万 3 千円を見込んでおりましたが 143 億 7,069 万 7 千円の実績となっております。

一番右側の、計画と実績の対比率につきましては 95%と、概ね計画どおりに進捗しております。

続きまして4ページ目、「介護サービス別利用量の実績と計画」をご覧ください。

こちらでは、サービスの利用人数や回数における計画と実績につきまして、サービス種類ごとに比較をしております。

左側の表の介護給付のうち、令和4年度の執行率につきまして、計画値と乖離している項目の主だったところとしましては、通所系及び短期入所系サービスについて、新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えや、受入れ停止期間などもあり、大幅に減となりました。

それ以外は、概ね計画通りの実績となっており、右側の予防給付の表につきましても、概ね介護給付に近い動きとなっております。

続きまして5ページ目、「介護保険料の状況」をご覧ください。

1番目の「段階別保険料」につきましては、第七期における平成30年度から令和2年度、第八期における令和3年度からの所得段階別保険料額を記載しております。

2番目の「保険料の収納状況(現年度分)」につきましては、表の右下、令和4年度の収納率は 99.35%となっております。

その下の3番目、「令和4年度保険料の収納状況」につきましては、特別徴収、いわゆる年金からの

天引きと、普通徴収、納付書等で納めていただく、それぞれの収納率を記載しております。

その右の4番目は、市独自の保険料の軽減制度の実績でございます。令和4年度につきましては、269人の方に399万1,500円の保険料の軽減を行っており、軽減率は44.25%となっております。

資料4及び資料5につきまして、説明は以上でございます。

- 部会長

ただ今の説明について、ご意見やご質問はございますか。

- 委員

資料4-1 令和4年度介護保険会計決算(概要)について「任意事業費」の「重度筋萎縮性側索硬化症(ALS)支援事業費」の決算額が0円となっておりますが、対象者がいなかったということでしょうか。また、どのように周知がなされているものなのでしょうか。

- 事務局

こちらの事業は、意思の疎通が困難な重度のALS患者が医療機関への入院中に、ALS患者とのコミュニケーションに熟知している支援員を派遣することにより、医療機関の従事者との意思疎通を図り、円滑な医療行為が行えるように支援する事業になりますが、令和4年度は派遣実績がありませんでした。

また、事業についてはALSの患者会の中で周知がされている状況です。

- 委員

資料5 介護保険事業の概要の2ページ目、「2. 要支援・要介護認定者数」について、軽度認定者の割合が増加しており、早い段階で介護認定を受けているためとのことですが、帯広市の認定が軽めに出やすいという傾向にあるということはないでしょうか。

- 事務局

要介護度につきましては、全国統一で訪問調査と主治医意見書の内容を基に、認定審査会において知見を有する方々の決定をもって認定しているものです。

- 部会長

そのほか、ご意見やご質問はございますか。

(各委員及び専門委員 質問・意見なし)

- 部会長

なければ次に、(3)「第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の実施状況」について、事務局より説明願います。

- 事務局

資料6「第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業実施計画実施状況」につきましては、指標の評価結果について説明させていただきます。

資料の10ページ目をご覧ください。

帯広市では、第八期計画において、4つの指標を設定しています。各指標は、達成率に応じて、AからDの4段階で評価しており、達成率80%以上をA、60%以上・80%未満をB、40%以上・60%未満をC、40%未満をDと評価しています。

では、各指標の令和4年度実績の評価について、説明いたします。

指標1『要介護度が「要介護度1」までの高齢者の割合』につきましては、達成率が91.2%であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

市による自立支援に向けた介護サービスの提供や地域包括支援センター・介護事業所による介護予防教室への参加、自主的な軽運動等の実践などが介護の重度化の抑制につながっているものと考えます。

指標2の『地域の支え合いを推進する協議体の実施回数』につきまして、令和4年度の実施回数は30回であり、令和3年度の17回からは増加していますが、目標の40回は下回っています。

協議体については、定期的な開催で地域の課題や必要な支援の取り組みの検討を進めている協議体が複数あるものの、実施回数は圏域により活動に差があることが要因と捉えています。今後は協議体を市全域に広げ、多様な形の協議・活動を推進し、地域の支え合いの仕組み作りを進めます。

指標3の『介護サービス事業所における1年間の離職率』は15.61%であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

経験が少ない新任職員のスキルアップ研修会や介護現場におけるリーダー職向けの研修会を実施し、介護現場での職員の定着・育成を図りました。

指標4の『認知症サポーター数(累積)』につきましては、令和4年度の認知症サポーター養成講座受講者数は累計で27,127人であり、目標を達成しました。

町内会、市民の活動団体での開催が復調したことや令和2年度から実施しているおびひろ市民学における取り組みの一つである市内の小中学校での講座の開催が要因であると考えます。今後も認知症の人やその家族を地域で支える環境づくりを進めます。

資料6につきまして、説明は以上でございます。

- 部会長

ただ今の説明について、ご意見やご質問はございますか。

- 委員

指標2の『地域の支え合いを推進する協議体の実施回数』につきまして、地域の支え合いを推進する協議体の現在の協議体数はいくつになりますでしょうか。また、具体的にはどのようなものなのでしょうか。

- 事務局

現在の協議体数は15か所になります。また、地域の支え合いを推進する協議体は、住民の方々が地域の問題について自分自身や住民間での助け合いで解決策を話し合う場になりますが、具体的にはボランティア活動や地域の除雪問題、地域住民の見守り等、地域の活動についての話し合いや問題解決に向けての話し合いをしているものです。

- 委員

帯広市は協議体に対してなにか補助を行っているのでしょうか。

- 事務局

帯広市では、地域住民の支え合い・助け合いを推進するためにコーディネーター等を配置することや、集まる場を設定するといったコーディネート業務を行っています。

- 部会長

そのほか、ご意見やご質問はございますか。

(各委員及び専門委員 質問・意見なし)

- 部会長

では、次第の3、その他について事務局から何かございますか。

- 事務局

最後に、配付しております資料7「令和5年度保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金について」につきまして、ご説明させていただきます。

それでは、資料7をご覧ください。

それぞれの交付金の概要につきまして、保険者機能強化推進交付金については、平成30年度より交付が開始され、自治体の高齢者の自立支援・重度化防止に向けた取組を客観的に評価するため、市町村の様々な取組の達成状況に関する指標の評価に応じて、国より交付金が交付されるもの

です。

介護保険保険者努力支援交付金については、令和2年度より交付が開始され、介護予防・健康づくり等に資する取組を重点的に評価するため、こちらも取組の達成状況に関する指標の評価に応じて、国より交付金が交付されるものになります。

なお、評価対象となるのは前年度の実績及び年度内に予定のある取組になりますが、指標項目数には毎年動きがあるため、継続的に進捗をはかれない項目もあります。

帯広市の活用状況としましては、交付金の対象となる事業費の第一号保険料相当分に充当している状況です。

また直近の令和5年度につきまして、保険者機能強化推進交付金で全国順位 123 位の 2,389 万 4 千円、介護保険保険者努力支援交付金で全国順位 120 位の 3,311 万 9 千円が交付決定されております。

資料7につきまして、説明は以上でございます。

- 部会長

ただ今の説明について、ご意見やご質問はございますか。

- 委員

帯広市の全国順位が掲載されておりますが、自治体の母数はいくつになりますでしょうか。

また、評価の内容については「3 本市の指標別得点状況」から確認をすればよいでしょうか。

- 事務局

母数は 1,741 自治体となりますので、帯広市は上位に位置づいております。

また、得点状況につきましては、ご質問のとおり「3 本市の指標別得点状況」にて、帯広市と全国平均の得点状況を確認できます。

- 委員

交付金の額については自治体の規模に関係なく、評価内容で決定されるものなのでしょうか。

- 事務局

自治体の規模等に応じた交付金の配分になっております。

- 委員

交付金については、どの事業に充当されるものなのでしょうか。

- 事務局

充当される事業につきましては地域支援事業費の保険料相当額分に充当しておりますが、具体的には先ほど説明させていただきました、資料4-1 令和4年度介護保険会計決算(概要)の左側2段目、「介護予防・生活支援サービス事業費」から4段目「任意事業費」までの事業が該当します。

- 委員

資料の「3 本市の指標別得点状況」のうち、「Ⅱ 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進(5)介護予防／日常生活支援」の帯広市の得点が80点と全国平均の120点に比べ低いのはなぜでしょうか。

- 事務局

今回の交付金に関する調査は、主に令和4年度の実施状況を評価したものとなっております。

現在、帯広市では、介護予防に関する実技や講話等を実施する通いの場を8つの日常生活圏域ごとに事業所へ委託し実施しています。また、市内で継続して活動し、新規の参加者を受け入れている65歳以上の自主活動団体(通いの場)に活動支援者やリハビリテーション専門職を派遣することにより、自主活動団体の介護予防活動の継続を促すなどしています。

国から示された評価指標では、①通いの場の参加者の健康状態を継続的・定量的に把握するなどにより、通いの場の施策の検討を行うこと、②参加していない人の健康状態や生活状況、医療や介護サービスの利用状況等を把握することや居宅への訪問等を実施するなど、通いの場への参加促進をすすめる活動等が挙げられていましたが、帯広市では、未実施で報告したところであります。

今回の評価結果を受け止め、高齢者が健康づくりと介護予防を一体的に活動できるよう事業内容等を検討してまいります。

- 委員

資料に掲載されている全国順位については、交付金の金額での順位なのでしょうか。それとも得点での順位なのでしょうか。

- 事務局

交付金の額については自治体の規模が大きくなれば配分される金額も大きくなるため、順位はあくまで得点での順位です。

- 部会長

そのほか、ご意見やご質問はございますか。

(各委員及び専門委員 質問・意見なし)

- 部会長

では、本日の議事は以上になりますが、その他、事務局から何かございますか。

- 事務局

次回の高齢者支援部会につきましては、来年2月を予定しており、令和6年度予算案が主な議題となります。

日程につきましては、部会長と相談をいたしまして、別途ご案内したいと思います。

また、先にご案内しておりますとおり、来月11月13日に第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた第2回高齢者支援部会・健康づくり支援部会合同部会を開催いたしますのでご出席のほどよろしく願いいたします。

- 部会長

その他、委員・専門委員の皆様から何かございますか。

(各委員及び専門委員 連絡事項なし)

それでは、以上で予定されていた議事はすべて終了いたしました。

本日の高齢者支援部会はこれにて閉会といたします。皆様、大変お疲れさまでございました。